

公益財団法人 三徳庵 寄附金等取扱規程

(目的)

第1条 この規程は、公益財団法人三徳庵(以下「この財団」という)が受領する寄附金に関し、必要な事項を定めるものとする。

(定義等)

第2条 この規程において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

1 一般寄附金

この法人の賛助会員または、この法人の賛助会員を含む広く一般社会の不特定多数の人々から、常時募金活動を行うことにより受領する寄附金

2 特定寄附金

この法人の賛助会員または、この法人の賛助会員を含む広く一般社会の不特定多数の人々から、用途を特定して一定期間募金活動を行うことにより受領する寄附金

3 特別寄附金

前各号のほか、個人又は団体から用途を定めたかたちで受領する寄附金

4 この規程における寄附金には、金銭のほか金銭以外の財産権を含むものとする。

(一般寄附金の募集)

第3条 この財団は常時一般寄附金を募ることができる。

2 一般寄附金は、寄附金総額の50%以上を定款第4条の公益目的事業に使用し、残りを法人会計に充てることができる。

(特定寄附金の募集)

第4条 特定寄附金を募集するときは、趣意書を理事会に提出し、承認を求めなければならない。

2 特定寄附金は適正な募集経費を控除した残額の総額を、定款第4条の公益目的事業の全部又は一部に使用することとして資金用途を定める。この場合、適正な募集経費は募集総額の30%以下でなければならない。

(受領書等の送付)

第5条 一般寄附金又は特定寄附金を受領したときは、遅滞なく礼状、受領書及び第4条第1項による趣意書を寄附者に送付するものとする。

2 前項の受領書には、この財団の公益目的事業に関連する寄附金である旨、寄附金額及

びその受領年月日を記載するものとする。

(募金に係る結果の報告)

第6条 この財団は、特定寄附金の支出が完了したときは、当該寄附金の収支に係る収支決算書及び当該支出による効果などを記載した報告書を寄附者に交付するものとする。ただし、広報誌もしくはホームページ上の公開に代えることができる。

(特別寄附金)

第7条 この財団は個人又は団体より特別寄附金を受領することができる。

2 前項の寄附金について寄附者から資金用途及び寄附金の管理運用方法について条件が付されているときは、その受領につき理事会の承認を求めなければならない。

3 寄附金が下記各号に該当する場合若しくはそのおそれがある場合には、当該寄附金を辞退しなければならない。

① 国、地方公共団体、公益法人及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第5条第17号に規定する者以外の個人又は団体はその寄附により、特別の利益を受ける場合

② 寄附者がその寄附をしたことにより、税の不当な軽減をきたす結果となる場合

③ 寄附金の受け入れに起因して、この法人が著しく資金負担が生ずる場合

④ 前3号に掲げる場合のほか、この法人の業務の遂行上支障があると認められるもの及びこの法人が受け入れるには社会通念上不相当と認められる場合

(情報公開)

第8条 この財団が受領する寄附金については、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律施行規則第22条第5項各号に定める事項について、事務所への備置き及び閲覧等の措置を講じるものとする。

(個人情報保護)

第9条 寄附者に関する個人情報については、別に定める個人情報保護規程に基づき、細心の注意を払って情報管理に務めるものとする。

(改廃)

第10条 この規程の改廃は、理事会の議決を経て行う。

附 則

1 この規程の施行に関し、必要な事項は別に定める。

2 この規程は、公益財団法人三徳庵設立の日から施行する。